

那賀川水系河川整備計画（那賀川流域住民の意見を聴く会）阿南市第二会場  
議 事 要 旨

日 時：平成18年12月10日（日）13：30～16：52

場 所：阿南羽ノ浦地域交流センター

参 加 者：15名

議事要旨：以下のとおり

【住民Aさん】

河川整備計画（素案）にダムの変換操作についての記述がないのではないかと。

【事務局】

現在那賀川においては県管理、四国電力管理のダムがあり、県と四国電力とで綿密な連携のもとにダム操作をしている。今後、長安口ダムについては、国への移管を予定しており、今後は国、県、四電の3者で綿密な連携をとって管理していく。

【住民Bさん】

持井橋のもとに住んでいるが、那賀川は天井川であり、農政局の堰や川口ダムもあり、ダム操作のタイミングがずれると不安である。上流で堤防、道路拡張によるコンクリート化で一気に洪水が流れてきても大丈夫か。

【事務局】

持井の堤防については、重要な堤防であり、河川整備計画の中でも質的強化（漏水対策・侵食対策）を実施していく。現在のところ、今より河床が高くなることはないと考えており、今のレベルなら8,500m<sup>3</sup>/sを安全に流すことができる。

【住民Cさん】

持井のところに可動堰ができる予定だが、堰の位置によっては、水流の変化がおきたり、また、バラス等が沈殿し、今後浚渫等の余分な手間が発生する恐れがある。現在の南岸堰はそれらを勘案して造ってあるが、位置が変わった場合に水流の変化はどうか。

【事務局】

南岸堰上流は流下能力が不足しており、河川整備計画で河床掘削が必要な区間である。また農地防災事業で南岸堰上流に可動堰を設置される予定である。洪水時にはゲートを引き上げるので、今よりは土砂のたまり方は少なくなると考えている。もし堆積した場合は、維持的に掘る予定である。

【住民Dさん】

ここ12、13年ぐらい前から加茂地区の水害が多くなっている。水位 流量曲線でハイドログラフを作っているが、水位が上がってあわなくなっている。国土交通省は調査していると思うが、砂レキが加茂地区の対岸に堆積してきたことが問題ではないのか。

**【事務局】**

川の管理として、定期横断測量を出水後などに実施している。一部砂州の上では堆積しているところもあるが、澁筋は掘れてきており、断面積としては問題ないと判断している。

例えば、5,000m<sup>3</sup>/sの洪水の時の浸水深が大きくなっているとは認識していない。

**【住民Eさん】**

オリフィスゲートをつけた時のダム操作規則はどうなるのか。素案P98によると河川整備計画でのダム放流量が5,900m<sup>3</sup>/sで洪水調節量が1,100m<sup>3</sup>/sとなっている。これにより、治水容量が20%から22%になっている。新しくオリフィスゲートを付けた場合、流入量4,000m<sup>3</sup>/sの場合のピークカット量は158m<sup>3</sup>/s(現行では384m<sup>3</sup>/sカット)、流入量5,000m<sup>3</sup>/sの場合、カット量は473m<sup>3</sup>/s(現行では640m<sup>3</sup>/sカット)になっている。7,000m<sup>3</sup>/sという長安口ダムへの流入量は、過去の記録から見てもあり得ない。オリフィスゲートと選択取水設備で100億円以上ものお金をかけても、流入量5,000m<sup>3</sup>/sに対する操作規則を作らないと意味がない。

**【事務局】**

現況ダム操作ルールから河川整備計画ダム操作ルールにすぐに変えるのではなく、下流の加茂地区、和食地区等の堤防整備状況に応じて順次ダム操作も見直し、最終的にジェーン台風のような大きな洪水も安全に流せるダム操作にしていくように考えている。

**【住民Fさん】**

桑野川について、一の堰を使用すれば、より効果的に水を安全に流せると思うがどうか。

大津田川の出口において排水ポンプは毎秒5m<sup>3</sup>/sを2基設置する予定となっているが、毎秒10m<sup>3</sup>/sを2基設置してほしい。今すぐできないのであれば、それができるように用地買収や施設計画を今の時点で考慮しておいてほしい。

床上は解消されるが、床下は解消されない。床下すれすれのところまで洪水がくると安心して暮らせない。安心して暮らせない住民がどれだけあるか実態を知ってほしい。毎日が安心して生活ができたらいいだけである。できない言い訳ばかりでなく、もう少し、知恵を出して、汗を出してがんばってほしい。

**【事務局】**

一の堰は田畑に水を取る施設であり、洪水をカットするという目的では使えないが洪水の時は一の堰のゲートを開けることにより河川水位が下がり、桑野川の流れをよくするような効果はあると思う。

5m<sup>3</sup>/sを2基設置予定で、平成11年6月洪水で大津田地区の床上浸水がおこらないよう考えている。今は排水ポンプ車も持っており、床上浸水が起こりそうな時は、排水ポンプ車による対応も可能である。20m<sup>3</sup>/sの話もあるが、他のところも浸水があるので、今後の状況を見ながら河川整備計画では10m<sup>3</sup>/sで対応したい。

**【住民Gさん】**

森林の整備は非常に重要である。行政としても、森林づくりに力を入れていただきたい。

洪水の時に自分の田畑が浸かるので、田畑が浸からないような方法を考えてほしい。

圃場整備をしたが、排水ポンプがつかなかったため、年に何回か浸水しており、なんとか考えてほしい。

明谷のところで樋門のゲートを手動で開閉し作業時間がかかるので、暴風時等すごく危険である。電動化してほしい。

**【事務局】**

森林の記述が少ないことからこれから、書く方向で進めたい。流域の人とどのように対応していくか一緒になって考え、行動していきたい。

整備としては、床上浸水を解消するのが一番と考えているが、県としても排水ポンプ車を配備する予定であるので、今後はそのような対応をしていきたい。

樋門管理が県かどうか不明であるので、調べて対応できるところから対応したい。

**【住民Hさん】**

オリフィスゲートを造った場合、約100億かかると思うが、それによる治水効果はどれくらいあるのか。古庄地点でどの程度水位を低下できると考えているのか。

**【事務局】**

整備計画の対象洪水は、戦後最大のジェーン台風である。長安口ダムは現況で古庄地点において100m<sup>3</sup>/sの洪水調節効果があり、オリフィスゲートと洪水調節容量を増やすことで、500m<sup>3</sup>/sカットできる。それにより約10cm～20cm水位を下げられると考えている。

**【住民Iさん】**

ダム操作規則によっては、水位が下がることも上がることも考えられるので十分な整理をしてから新しいダム操作規則を作してほしい。

長安口ダムは非成層型のダムであり躍層ができにくく、選択取水設備については造っても効果はないと思う。そのようなことをするのは無駄であり、加茂地区等対策が必要などころにお金を投じてほしい。

**【事務局】**

河川整備計画では、ジェーン台風型ということで、9,000m<sup>3</sup>/sでの洪水調節効果は500m<sup>3</sup>/sとしている。下流河川の整備に合わせ、中小洪水にも対応できるようなダム操作ルールをその都度考えていく必要がある。

選択取水設備は、時期によって効果の差があるが、環境基準を守れない日を半分ぐらいの日数に低減できる。

**【住民Jさん】**

なぜ長安口ダムだけが、国交省の管理になるのか教えてほしい。

**【事務局】**

長安口ダムは、治水・利水・環境の面でいろいろな問題を抱えている。

洪水調節と利水補給をしながら、オリフィスゲート等を設置する必要があり、工事の内容も高度であり、また多大な事業費もかかることから県知事を筆頭に議会等の協力を得て国に要望し、素案に書き入れて頂いている。

流域唯一の洪水調節ダムで流域全体を見渡して効果があり、県より要望があったことから、直轄化事業に向けた予算要求をしているところである。

**【住民Kさん】**

河川整備計画(素案)の作成について、国土交通省や徳島県の方々ご苦労さまでした。上下流の交流のために、川の駅がどこかにできないだろうか。小見野々ダムは余力のあるうちに活用してほしい。森林について明確に表現してほしい。森林の水に関する学問は確立されておらず、諸説言われている。森林の水に関する学問は過渡期である。水を使う工場があり、四国で1番の所得が阿南にある。利水安全度を1/7ではなく1/10に上げてほしい。長安口ダム上流の除去した土砂を辰巳突堤まで運搬してきて埋めてもいいのではないかと。

**【事務局】**

上下流の住民が一緒になってどうするかを考えていかないと那賀川流域は良くなないので、上下流交流により共通認識を持つことは重要であると考えている。森林については、今後我々だけではできないので、地域の人たちと一緒に考えて、行動していきたい。長安口ダム等の有効活用によって、利水安全度1/7まで上げられる予定である。今後は流域の水の使い方を考えることも必要であり、今後、流域がどのように変わっていくのか、状況を見ながら検討していきたい。河口への土砂運搬については、河口まで運ぶのは運搬費用等の色々な問題がある。また、ダムの堆積土砂の置場や使用方法については、どうすれば良いかも含めて考えていきたい。

**【住民Lさん】**

長安口ダムができてからの意見・要望について、一度も対応してもらったことがないので那賀川水系に住めて良かった、育って良かったと思えるような対応をしてほしい。河川整備計画の素案について問題はない。ただし、長安口ダムは必要ないと言っている住民がいる限り、長安口ダムの必要性を検討していただきたい。ダムを今すぐ撤去せよと言っているのではなく、当面は、堆砂問題について、排砂バイパスを使って対応できるかどうかを検討してほしい。

**【事務局】**

長安口ダムがいないという意見も頂いた。流域の方がよりよく住めるよう、少しでも治水・利水・環境を含めて有効活用のため、国管理でお願いしたところである。流域の方々の意見をバネにして、取り組んでいきたい。長安口ダムは、昭和31年にでき、現在も役目を果たしている。この河川整備計画の中で、治水・利水・環境の面から、より良くしていくために、フォーラムで提言された長安口ダムの有効活用を考えていきたい。